

「笑顔」と「健康」をお届けできる会社を目指して Smiles for All. すべては、笑顔のために。



この度、東洋水産株式会社の社長に就任しました住本憲隆でございます。東洋水産グループは2023年3月25日に70周年を迎えました。この節目の年に大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。当社グループは、1953年の創立以来、「やる気と誠意」をもって、公正に業務に取り組み、挑戦を続けてまいりました。これからも、創業の精神を継続し、「笑顔」と「健康」をお届けできる会社を目指して、果敢に挑戦してまいります。

2022年度から2024年度の3ヵ年中期経営計画の初年度は売上高、営業利益、経常利益、純利益ともに過去最高を達成いたしました。また、当社グループは、「5つの笑顔」を実現することで、ステークホルダーの皆さまから信頼され、必要とされる企業グループを目指しております。

2023年度に向けて、まずは、現中期経営計画の4つの基本戦略を推し進めることで、業績目標の確実な達成、食を通じた社会課題解決への貢献を進めてまいります。その上で2030年、そして創立100周年に向けて、次の中期経営計画への取り組みにつなげることが私の重要な使命であると考えています。

今後、企業を取り巻く環境はさらに速く、そして大きく変化することが予想されます。そのような中でも、これまで一つひとつ積み上げてきた経験や皆様から頂戴した信頼など、守るべきものは守り、一方では、変化をチャンスと捉え、前向きに明るく、果敢に新たな挑戦をすることで、より強く、骨太な会社に成長できるよう、グループ一同努力してまいります。

今後一層のご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

代表取締役社長 住本 憲隆

食を取り巻く社会・環境課題

東洋水産グループの事業領域

東洋水産グループが社会と共有する価値

- 気候変動
 - 持続可能な原材料調達
 - 少子高齢化社会
 - 食品ロス
 - 消費者ニーズの変化
- など

- 水産食品事業
- 海外即席麺事業
- 国内即席麺事業
- 低温食品事業
- 加工食品事業
- 冷蔵事業
- その他事業

2022～2024 中期経営計画	
基本戦略	1 新たなる食文化・食生活の創造 2 海外展開の深化 3 経営基盤の強化 4 社会課題・環境への対応
2024年度目標	売上高 4,300 億円 営業利益 420 億円
2022年度実績	売上高 4,358 億円 営業利益 403 億円



商品やサービスを通じて

経済価値

社会価値

環境価値

を提供



SDGsへの貢献

東洋水産グループが目指す5つの笑顔の実現

東洋水産グループの持続的成長と
持続可能な社会の実現